賀正　新年特集号

発行所
光町役場
匝瑳郡光町宮川5454－5

ひかり

新春を迎えて
＝誠意と努力の年＝

町長　深田三郎

明けましておめでとう存じます。

町民各位には昭和三十五年も益々御健勝にわたらせられますと共に不肖私にも倍旧の御支援を賜わりますよう広報「ひかり」新年号紙上よりご挨拶申上げます。

過ぎ去りました年を顧みますと皆様の深い御理解と御協力の下にとうやらここまで歩を進めて参りましたものの文字通りよちよち歩きの感で、我ながら歯がゆい思いと申すのが本心で御座います。

三十四年度は光町建設計画の第一歩として「有線放送の実施」に踏み出しました。これは町村合併以来の念願でありました「町内通信連絡の一元化」であり一日も早く完成させたいと努力中であります

さて、昭和三十五年度の事業方針としては、㈠教育施設の拡充　㈡産業道路の整備を二大眼目とする決心です。教育の振興産業の発展はわたくし立候補の際のお約束で「教育施設の拡充」「産業道路の整備」はその具体化であります。

一　教育施設の拡充について

三十五年度の教育施設の拡充として最も大きなものは「中学校統合」の念願であります。現在のままの規模ではどんなに施設を充実し教育効果をあげたくとも実際には不可能と思います。そこで、どうしたなら「中学校統合」が実現でき子供らが幸福になり次代の光町を、日本を背負う若人育成がなされるか？

この解決はひとり町長、教育委員のみならず、父兄及び関係者みなさんの全責任であります。微力ではありますが全力を傾注してこれが実施をはかる決意でありますので今後とも絶大なご協力を懇請申上げます。

二　産業道路の整備について

産業発展策の中で最も公共性の強いものは産業道路の整備でありますが、このことは個々の力のみでは全く不可能であります。

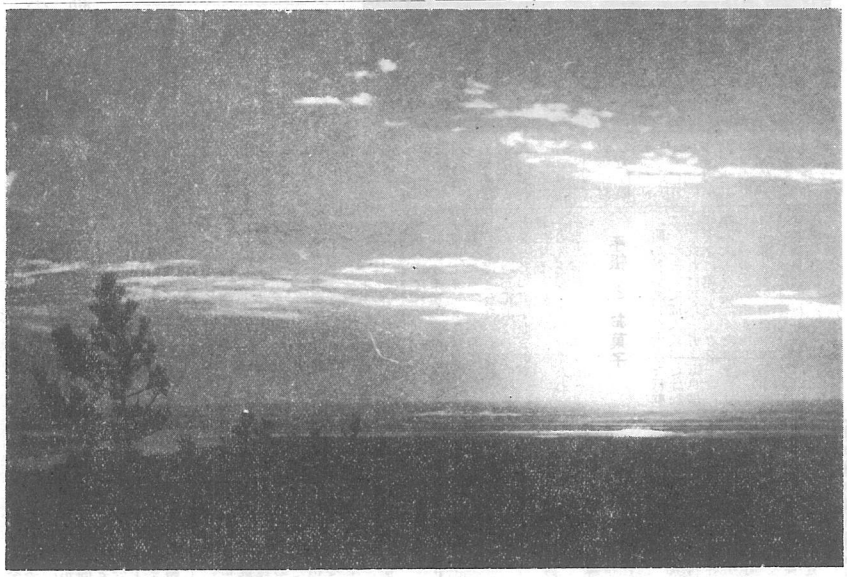
道路整備に当ってはどこまでも一貫した計画を樹て、一部分に偏することなく、四隣市町と充分な連けいをとって恒久性のある道路整備の実現を期したいと考えます。またこの整備計画は統合中学通学道路と結び併せて計画することによって得るところ甚だ多いと信じます。

三　その他の事業について

このことについては、三十四年度中の事業で未完成のものを整理しつつ、「新町建設計画」「新農山漁村建設計画」と併せ実施に運ぶ所存であります。

「新町」については既に有線放送で計画実施の第一歩に入りました。「新農」は本年三十五年度に指定をうけることになっておりますので、これ又、充分に皆さまのご希望をとり入れて計画実施に移したいと考えます。

以上本年度の事業方針の大綱を述べましたが、いづれにいたしましても、微力な私でありますが皆さんのため、町発展のため格段の御指導とご協力を願い誠心誠意全事業の完遂に体当りする覚悟で御座います。



初日に映ゆる九十九里浜　（西沢豊彦撮影）

希望に輝く春
昭和三十五年

町議会議長　伊藤幸太郎

希望に輝く新年を迎え、広報紙上より皆さんにお祝いの言葉を申し上げますことは、私のまことに喜びに堪えないところであります。

昨年はからずも議会議長の重責を担うに及び大方町民各位の御鞭撻と御支援により大過なく今日を迎え得ましたことは、議員諸賢、町当局者の深い御理解と御協力と併せて感謝に堪えないものを覚えます。

さて本年度も「新町」「新農」計画の推進と「中学統合」問題「産業道路の整備」等幾多の重要施策が議会分野において慎重審議を要請されることとなりましょう。これらの事業は御存知のごとく一つに当町の発展と住民の福祉増進のため成し遂げたいものであります。

このため、我々議会人は町民の衆智を集め、良識に基いて判断いたしますと共に、これらの審議の経過並に結果は出来るだけ町民の皆様に知って戴く為めに「広報」に掲載し町の情況を理解納得して戴き度いと存じます。

やがて私達の念願する各種事業がスクスクと芽ぶき輝く陽光を浴びる壮観を想うとき私はこころからこの平和と希望に満ちた光町に住み、かつ働くことの幸せを思わずにはいられません。

実に今年こそは輝しい年となることを祈念して年頭の御挨拶といたします。

規律と自由

寄稿　向後英一

私達の学生時代よりずっと前の話、東大の構内に芝生を植えて、これを柵で囲ってその中の通行を禁止したそうです。ところが大部分の学生がその真ん中を横切って通るので、そこに自然の通路ができてしまった。これを聞いたあるイギリス人の教授が、通路ができてしまったのは、そこを通るのが最も便利で自然だからなのだから、一そのことをそこを道にしたらいいではないかといって、とうとうそこに道を通してしまいそのために芝生の他の部分は立派になったといいます。これは人々に不自然な無理なことを要求しても、それは徒らに一種の犠牲を出すだけだということの証拠でしょう。

ある会合で席を隣り合った元法相の岩田宙造博士から伺った話にこんなのがあります米国の士官学校ウエスト・ポイントは、規律が厳重なので有名である。余り厳格すぎるというので父兄会の名で校長に対してもっと寛大にするように要請をした。ところが生徒達は反対に、「規律はあくまで厳重にしておいて欲しいと申し出た。その理由は、我々はやがて士官となって幾百幾千の貴重な人命を預ることになるのだから、規律はどんなに厳格であってもすぎることはないというのだったそうです。

人の上に立って事を行うものは、できるだけ無理のない自然な方途を選ぶ。そして、一般の人々が規律を守ることになれば、萬事がうまく行きましょう。民主々義の力も発揮できるというものです

いつか読んだあるイギリスの人の言葉に次のようなのがありました。これをとくに若い方々にお伝えしたいと思います。

「自由とは、他人から規律を強いられないように、自分自身で規律を守る権利である」

向後英一先生は光町橋場の人、現に毎日新聞論説委員として活躍しこの度米国視察の招聘により昨年十一月八日渡米、二月中旬に帰国される予定で出発前の多忙な時間を「ひかり」のため稿を寄せてくださいました。（係記）

謹賀新年

議会

議長	伊藤幸太郎
副議長	伊藤松之亮
議員	越川増荒男
〃	大堀謙治
〃	越木喜代
〃	土屋方吉
〃	鈴木英菊
〃	行沢正隆
〃	林田又栄
〃	深木新政
〃	岩本亮
〃	大島一
〃	鈴木一
〃	川名保
〃	伊橋一
〃	飯田治
〃	椎名雄
〃	伊藤治
〃	竹内衛
〃	林木夫
〃	大田一
〃	市原治
〃	吉田一
〃	木内就
〃	田中章
〃	小川雄
〃	椎名松
〃	伊藤司
〃	吉田英
〃	木内治
〃	名田男
〃	橋本治
〃	田木衛
〃	小川夫
〃	椎名一
〃	堅田一
〃	睦政治
〃	清一
〃	慎
〃	伝兵
〃	節
〃	栄政
〃	隆
〃	亮
〃	新又
〃	正
〃	英
〃	菊
〃	代
〃	謙
〃	治
〃	郎
〃	亮
〃	郎
〃	治
〃	衛
〃	夫
〃	一
〃	一
〃	一
〃	雄
〃	治
〃	郎
〃	司
〃	止
〃	夫
〃	重

謹賀新年

監査委員	向後忠一
教育委員会 委員長	実川朋治
〃 委員	椎名清二郎
〃 〃	越川猛一
〃 〃	大木才
教育長	飯田栄
選挙管理委員会 委員長	加瀬益雄
〃 委員	小川克已
〃 〃	喜浅市喜治
〃 〃	藤野原島一
〃 〃	孝栄平
農業委員会 会長	佐久間幸
〃 委員	鈴木将治
〃 委員	布施邦夫
〃 委員	斎藤新一郎
〃 委員	飯田之助
〃 委員	林邦治
〃 委員	越川将
〃 委員	越鈴木一郎
〃 委員	越川吉沢一郎
〃 委員	越木山潤
〃 委員	越木伊藤義
〃 委員	越蕨橋陽一力
〃 委員	越蕨伊藤次和
〃 委員	越蕨椎名源之助
民生委員推薦委員会 会長	青柳要三郎
〃 委員	同
民生委員	平山秀樹
〃	増島利一
〃	布施喜一郎
〃	岩本要
〃	佐久間治
〃	向後栄治
国保運営協議会 会長	石川忠一
〃 委員	市川徳
〃 委員	小林重
〃 委員	伊藤真
〃 委員	伊藤八郎
〃 委員	伊藤喜一
〃 委員	椎名代雄
〃 委員	椎名千
〃 委員	大橋村
〃 委員	木浦寛
〃 委員	飯田政治
屠場運営委員会 委員長	飯田治
〃 委員	飯田一
建設審議会 委員長	椎名弘
〃 委員	椎名一
固定資産評価審査員	馬場太郎之進
〃	森雄蔵
消防団長	越川伸
青年団長	林優

（順序不同、兼職者は一方記載）